

令和 6 年度 練馬区幼保小連携研修会の開催実績

1 管理職対象

(1)開催日〔対象地区〕

令和 6 年 6 月 18 日（火）〔豊玉・開進・練馬・光が丘〕

令和 6 年 7 月 2 日（火）〔石神井・大泉〕

※YouTube 配信（7/2 講演分） 8 月 8 日～30 日 106 回視聴

(2)内容

○講演

子どもが自信や意欲をもって学ぶために～架け橋期の環境設定をマネジメントする～

（講師） 國學院大學人間開発学部子ども支援学科教授 吉永 安里

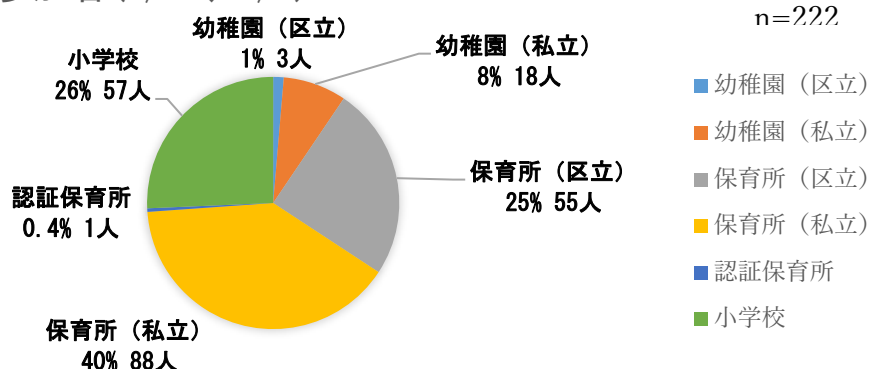
○意見交換

(3)参加者数

(人)

施設名	6 月 18 日	7 月 2 日	合計	区内の園 校数	区内園校数 における参 加割合
幼稚園（区立）	2	1	3	3	100%
幼稚園（私立）	10	8	18	38	47%
保育所（区立）	34	21	55	60	92%
保育所（私立）	42	46	88	148	59%
認証保育所	1	0	1	17	6%
小学校	28	29	57	65	88%
合計	117	105	222	331	67%

施設別参加者（6/18、7/2）



(4)アンケートまとめ

○アンケート回収数

(人)

	6 月 18 日	7 月 2 日	合計
幼保	86	61	147
小学校	28	26	54
合計	114	87	201

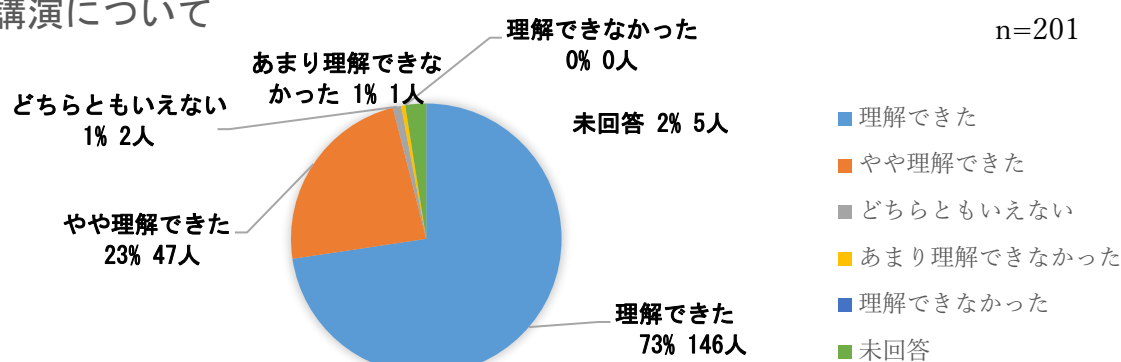
○講演について

(人)

選択肢	6月18日			7月2日			幼保計	小学校計	合計
	幼保	小学校	計	幼保	小学校	計			
理解できた	58	20	78	45	23	68	103	43	146
やや理解できた	24	6	30	14	3	17	38	9	47
どちらともいえない	2	0	2	0	0	0	2	0	2
あまり理解できなかった	1	0	1	0	0	0	1	0	1
理解できなかった	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未回答	1	2	3	2	0	2	3	2	5
合計	86	28	114	61	26	87	147	54	201

講演について

n=201



○講演についての感想、意見など（抜粋）

【幼稚園】

- ・ 架け橋期はどうしても規律に目が行きがちですが、小学校が座っての学習のみでなく、主体的な学びの時間を大切にしていることがよく理解できたので、肩肘はらずに幼児らしい遊びの時間を大切にしたいと感じました。
- ・ 保育園では、主体性を意識した取組が盛んになってきています。小学校では黒板に向かって授業を受ける姿や前に出て発言するなどの姿があり、ギャップを感じるころがありました。今回見た小学校の姿は理想だと思いますが、その理想を実現していくためにも、幼保と小学校が協働していき、お互いを知るという機会がやはり必要だなと感じました。知ることで、小学校の架け橋期プログラムも意味のあるものになってくると感じます。
- ・ 吉永先生のお話は、具体的な実践に即した内容でとても勉強になりました。私たち教員・保育関係者の学びを深めたと思います。特に、架け橋期の教育の充実は、幼児教育と小学校教育がどちらも「主体的・対話的で深い学び」ということを念頭において進めていくものであること、小学校への移行期について、ただ小学校のやり方や型にはめるための適応の手立てを工夫するという視点ではなく、「主体的に学ぶ」ためにどんな工夫ができるかという視点をもって取り組むということをお話してくださり、これからの教育の変革や進化に希望を持ちました。
- ・ 吉永先生のお話を聞くことができ、大変勉強になりました。共主体性の8項目は、自分もドキッとすることがたくさんあり反省しております。

【保育所】

- ・とても参考になる講演でした。再度自園の指導計画を見直して検討していきたいと思います。
- ・具体的な実践例を紹介していただきとても分かりやすかったです。幼児教育側、小学校側それぞれの立場が、まずは自分を振り返り、「主体的・対話的で深い学び」が実践できているか考えていくとよいとの提案は本当にその通りだと感じました。
- ・子ども自身が“こうしたい”“ああしたい”を叶えられる生活環境や生活空間も大切だと改めて感じました。
- ・写真が多く、具体的なエピソードを聞くことができたので参考になりました。（同意見2件）
- ・ワクワクするようなカリキュラム提案でした。環境としての保育者の存在と気づきを期待するだけでなく、声掛けの重要性も理解しました。
- ・保育園時代にしてきた事を小学校でも途切れず大事にしていけたら嬉しいなと思いました。保育において、子どもの発想を吸い上げ展開させていくことができるよう、保育士にその力をつけさせていかないといけないと感じました。
- ・自園の保育士から今年度「子どもたちの自主性・主体性を大切にした保育を行いたい」「そのための環境を作りたい」「職員間で語り合いたい」の声が多く聞かれるようになりました。実際保育も変わってきています。本日の学びを私からも職員へ共有をして、園全体へとつなげるために「ねりま幼保小の架け橋期プログラム」を活用しながら学びを深めていこうと考えます。講師の先生より「年長児の学びが自信となっていく」との言葉を聞き、連携にばかりの意識ではなく、日々の生活の中で自園ができることを今後も計画的に行っていきたいと思います。

【小学校】

- ・「協働的な学び」、「個別最適な学び」の具体例があり、現在の架け橋期（1年生）の学習のあり方について考え直す機会をいただきました。もっと子どものもつ力に任せる（引き出す）姿勢が必要と思いました。
- ・具体的な実践例で、さらに理解が深まりました。なかなか自分の学校でここまでできていないと思いつつ、できること、入口はたくさんあると思いました。
- ・幼児期の主体性を小学校でも育成することの大切さがよくわかりました。これから小学校高学年の思春期、中学校、高校と成長していくなかでも、Co Agency が生かし続けられるような社会の仕組みを大人が研究、改善していかないといけないと思いました。
- ・言葉で伝えること、文字を書くまでのこと、それぞれが幼児期のあそびや生活の中で必要になって意欲として育っていくことがわかりました。遊びの中に小学校での学びのものが全てつまっているのではと思います。主体性を重視しながらも教えるべきものは教え、一人の学びではなく友達と共同して学びを広げていくことがこれからも大切になってくると感じました。

○意見交換についての感想、意見（抜粋）

【小学校】

- ・意見交換では昨年度までの本地区での取組や今年度の交流の内容について確認する事ができて、大変有意義な時間でした。時期的に5月中の開催だと夏季休業中の予定についても検討できるので、なお良いと思いました。

【保育所】

- ・意見交換では、小学校の校長先生、副校長先生方と直接お話しすることができて、有意義な時間でした。（同意見4件）
- ・グループごとの意見交換時に、地区が異なる先生がいらして、その先生の地区のお話も伺うことができたので、他の地区の情報を知ることにも有益だと思いました。
- ・「子ども主体」「子どものやりたいを活かした活動」について、意見交換の時間に保育園や幼稚園では行いやすいけれど、小学校ではカリキュラムに縛られていてできないというご意見があったので、その点についてもっと講師の先生からご提案をいただくなどの時間があると良かったです。意見交換の時間にも講師の先生にご滞在いただき、このような意見に対するご意見やご提案をいただく時間をとれるとよいと感じました。

2 担任対象

(1)開催日時〔対象地区〕

令和6年7月24日（水）14:00～16:30〔豊玉・開進・練馬・光が丘〕

令和6年7月25日（木）14:00～16:30〔石神井・大泉〕

(2)内容

○講演

1. 幼保小の交流・連携の実際 北大泉幼稚園での実践について

（講師）練馬区立北大泉幼稚園 園長 金子 洋子

2. “ふつうの学校”の幼保小連携の事例から

～ “どこでもできる” “誰でもできる” 実践の一助に～

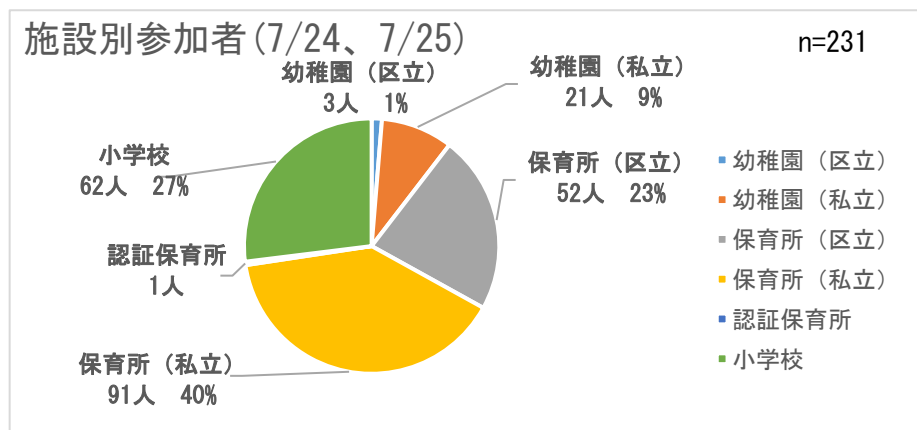
（講師）練馬区立橋戸小学校 校長 青木 俊哉

○意見交換

(3)参加者数

(人)

施設名	7月24日	7月25日	合計	区内の園校数	区内園校数における参加割合
幼稚園（区立）	2	1	3	3	100%
幼稚園（私立）	10	11	21	38	55%
保育所（区立）	32	20	52	60	87%
保育所（私立）	48	43	91	141	65%
認証保育所	1	1	1	17	6%
小学校	30	32	62	65	95%
合計	123	108	231	324	71%



(4) アンケートまとめ

○アンケート回収数 (人)

	7月24日	7月25日	合計
幼保	91	70	161
小学校	28	28	56
合計	119	98	217

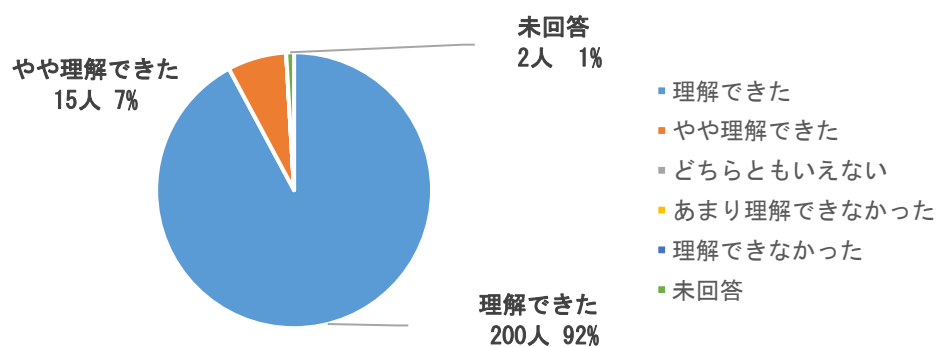
○講演について

(人)

選択肢	7月24日			7月25日			幼保計	小学校計	合計
	幼保	小学校	計	幼保	小学校	計			
理解できた	85	26	111	61	28	89	146	54	200
やや理解できた	5	1	6	9	0	9	14	1	15
どちらともいえない	0	0	0	0	0	0	0	0	0
あまり理解できなかった	0	0	0	0	0	0	0	0	0
理解できなかった	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未回答	1	1	2	0	0	0	1	1	2
合計	91	28	119	70	28	98	161	56	217

講演について

n=217



○講演についての感想、意見（抜粋）

【幼稚園】

- ・ささやかな交流も、子どもたちにとっては、大きな経験であると改めて感じました。
- ・交流している園と学校の発表だったため、連携が分かりやすかったです。
- ・小学校が、どのような考えで受け入れてくれているか知る機会になりました。
- ・担任主体で幼少連携を行なっているため、子ども主体の連携ができれば良いと感じました。

【保育所】

- ・「ねりま幼保小の架け橋期プログラム」についてと実際の交流の話を聞き、交流の大切さを改めて感じました。（同意見 5 件）
- ・交流について具体的にお話を聞くことができ、これからの展望・取組に生かそうと思います。（同意見 4 件）
- ・小学校との連携は大人の不安払拭にも繋がると感じました。
- ・環境によって、実施できることは様々であり、うらやましさも感じましたが、“何ができるか”を考えるきっかけとなりました。
- ・架け橋は、一方通行ではない、大人もお互い行き来ができるというお話が印象的でした。（同意見 3 件）
- ・他の園が小学校とどのように交流しているのか知る機会があまりないので、写真で見ることができ、イメージしやすくて良かったです。（同意見 2 件）
- ・自園では、小学校との交流を計画できていなかったため、大変参考になりました。（同意見 2 件）
- ・年長指導の参考になりました。（同意見 1 件）
- ・園と小学校とではギャップがあるからこそ、連携により、子どもたちの不安を安心に、そして期待を持てるようにするのが大切なのだと思いました。（同意見 1 件）

【小学校】

- ・交流までの過程や当日の様子など、具体的な話が聞けてとても参考になりました。（同意見 3 件）
- ・園や学校での子どもたちの姿が目につかぶような内容で分かりやすく、子どもの思いを大切に取り組んでいきたいという気持ちになる内容でした。
- ・計画時にどのような点に重点を置いて、計画をたてていくのが大切であるか気付きました。
- ・幼保との連携は、1 年生担任が主となって考え、小学校主体で実施しなければならないものだと考えていました。本日の講演でお話を伺い、もっといろいろな可能性があるのだと感じました。
- ・子どもが主体的に取り組める授業を、考えていきたいと思いました。
- ・入学を控えている年長児にとって、小学校はどのようなところなのか知ること、不安を取り除き、「楽しみだな」と前向きになれるのではないかと思います。

○意見交換についての感想、意見（抜粋）

【幼稚園】

- ・新任で 5 歳児の担任をしており、就学に向けて何をしたら良いのか不安でしたが、様々なことを学び、つながりを感じることができました。
- ・小学校の先生のお話を直接聞くことができて良かったです。（同意見 3 件）

- ・卒園児の様子を聞くことができ、就学に向けて園で取り組む課題も見えてきました。
- ・貴重なお話を聞くことができ、保育士としてのモチベーションにも繋がりました。
- ・近くの園でもなかなか交流することがなかったのですが、話ができ良かったです。今回、知り合った関係を生かしたいです。
- ・毎年交流している学校でも、先生方とお話しする機会はなかなかないので、お話を聞くことができ今後の参考になりました。
- ・小学校入学までに準備しておいたほうが良いこと、課題などを把握し、2学期からの保育に繋がっていききたいと思います。

【保育所】

- ・就学前に何が大切なのか分かり、明日からの保育に生かしたいと思います。
- ・情報共有することが、小学校入学後の子どものよりよい学びの環境につながる事が分かり、連携を深めたいと思いました。
- ・他園から工夫しているところや取り入れているところ、小学校の先生からなかなか聞けない1年生のリアルな様子を聞くことができ、すごく良い時間を過ごすことができました。(同意見6件)
- ・小学校の先生にいろいろお聞きすることができ、今後、保護者や子どもたちの不安に対して安心できるような話ができるので、有意義でした。
- ・たくさんの園の意見を聞くことで、交流の大切さを感じ、もっとはやくやっておけばよかったと思いました。今後に生かしていきたいです。(同意見1件)
- ・近隣の小学校との交流を行いたいと思っており、今回の意見交換会で話が進み、実現に近づくきっかけになりました。

【小学校】

- ・それぞれの立場で、子どもや親との関わりに同じような悩みが聞けました。
- ・園の実態について理解を深めることができました。
- ・連携の持ち方や時期を具体的に話せました。
- ・交流している園の方々と話すことができ、細かい内容をお互いのニーズに沿って計画することができました。
- ・“子どもたちにとって”の意味を考え、実践につなげていきたいと思います。
- ・地域の先生方との貴重で有意義な意見交換の場となり、連携につながるよい機会でした。(同意見9件)
- ・どのように連携をとり合えるかを考えていきたいと思います。(同意見1件)
- ・大人同士の情報交換が、結果的に子どもたちへのフォローに繋がっていくと思うので、直接お話しするのはとても大事なことだと思いました。
- ・保育園・幼稚園と情報の共有があまりできていなかったため、とても貴重な時間でした。